TOHOKU UNIVERSITY
IRIDeS
東北大学災害科学国際研究所

日本自然災害学会において第 36 回学会賞（令和 8 年度）学術奨励賞を受賞しました
(2026/9/25)

テーマ：災害情報、災害科学
会　場：札幌市教育文化会館（北海道札幌市）

日本自然災害学会の令和 8 年度（第 36 回）学会賞において、新家杏奈助教（防災社会推進分野）が学術奨励賞を受賞しました。

学術奨励賞は、原則として前年度に学会誌「自然災害科学」または「Journal of Disaster Science and Management」に優れた論文等を発表し、自然災害科学における学術の進歩発展に寄与するとともに、独創性と将来性に富むと認められた若手研究者に授与される賞です。

受賞対象となった研究では、気仙沼市内の中学校において、東日本大震災の被災住民への聞き取り調査を通して得られた教訓を基に、その内容を住民や保護者に発表する防災学習を 3 年間継続的に実施しました。また、各年度の学習の前後に質問紙調査を行い、防災学習の効果を分析しました。その結果、防災学習を３年間にわたって継続的に実施することにより、学習によって得られた効果が持続する傾向が確認されました。

今回の受賞を励みに、今後も地域や学校と連携しながら、地域の災害経験を次世代の防災につなげる研究・実践に取り組んでいきます。

【受賞論文】
新家 杏奈，佐藤 翔輔：「被災体験の聞き取りを活用した防災学習の継続的な実践とその効果ー鹿折中学校での実践事例ー」，自然災害科学，Vol.44，特別号，pp.175-189，2025.



文責：新家杏奈（イオン防災環境都市創生共同研究部門、防災社会推進分野兼務）